

お知らせとお願い

当番世話人：市川 尊文

(北里大学医療衛生学部病態生化学 教授)

期 日：2020年3月13日(金)

会 場：メルパルク京都 6F 会議室 C

〒600-8216 京都府京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町 676 番 13

【TEL】075-352-7444(代) 【FAX】075-352-7390

<http://www.mielparque.jp/kyoto/>

受 付：午前8時30分から会場前にて行います。

*受付にて参加費5,000円と引換に名札をお受け取り下さい。

◆世話人の先生方へ

1) 研究会前日(3月12日)18時20分より、別会場にて世話人会を開催致します。

◆座長の先生方へ

1) 開始予定時刻の10分前には、次座長席にお着き下さい。

2) 時間厳守にご協力下さい。

◆演者の先生方へ

1) 発表者(共同演者も含む)は研究会の会員に限ります。

2) 発表予定時刻の10分前には、次演者席にお着き下さい。

3) 講演時間は、萌芽的研究/一般演題/エキスパートフォーラムともに発表8分・討論4分の合計12分です。限られた時間ですが、質疑などのお時間にご配慮下さい。時間厳守でお願いします。

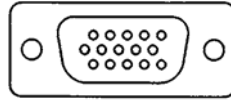
4) 使用機材は、液晶プロジェクターによる発表のみとなっています。事務局では、PowerPoint2013(Windows)を用意させていただきます。機種によっては対応が困難な場合もありますので、その際は予め当番事務局宛へご連絡・ご相談ください。

5) Mac使用、及びWindowsで動画を含む場合は、必ずPC本体をご持参下さい。その際は、電源ケーブルも必ずお持ち下さい。バッテリーでのご発表はトラブルの原因となりますので、ご注意ください。

6) PC受付は、発表の30分前までにデータ受付にUSBをご提出下さい。保存フォルダ・データ名には、「演題番号」と「演者名」を入力してください。

(朝一番のセッションは8時45分からの受付になります。)

- 7) 液晶プロジェクターへの接続は Mini D-SUB 15pin にて行います。すこの形式に変換するコネクタを必要とする場合には必ずご自身でお持ちになってください。



◆ 討論者の方々へ

- 1) 発表者討論者は座長の許可を得た上で、所属・氏名を明確に述べ、時間に配慮しながら討論を簡潔に進めて下さい。
- 2) 討論にはプロジェクターを用いないで下さい。

【第 38 回 Cytoprotection 研究会事務局】

〒252-0373 神奈川県相模原市南区北里 1-15-1

北里大学医療衛生学部病態生化学内

TEL: 042-778-9487

FAX: 042-778-9406

E-mail : pathobiochem@ahs.kitasato-u.ac.jp

【サイトプロテクション研究会本部事務局】

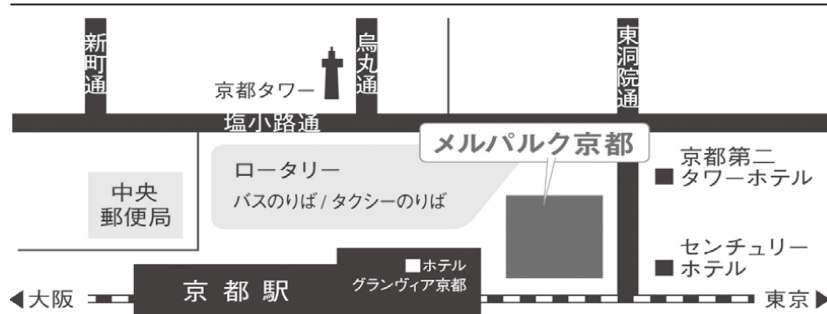
〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町 465

京都府立医科大学大学院医学系研究科消化器内科内

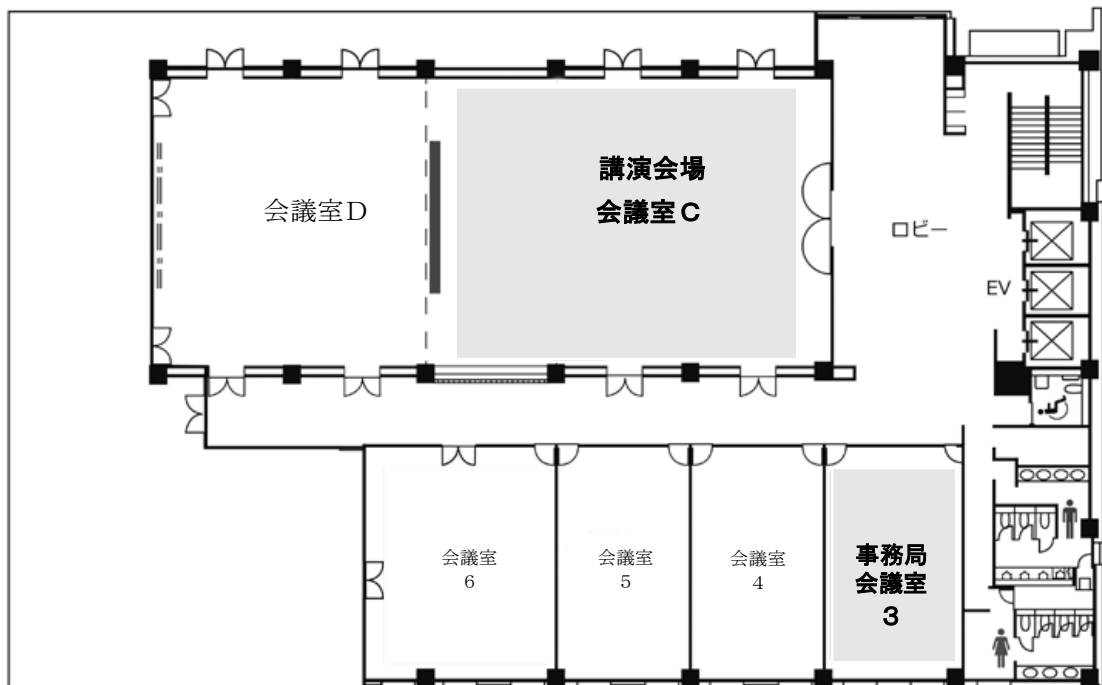
E-mail : cytopro@koto.kpu-m.ac.jp

<http://gakkai.umin.jp/cytoprotection/>

会場のご案内



★6F★



*喫煙は7Fのラウンジでお願いいたします。

メルパルク京都

〒600-8216 京都府京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町 676 番 13

【TEL】075-352-7444(代) 【FAX】075-352-7390

<http://www.mieparque.jp/kyoto/>

第 38 回サイトプロテクション研究会プログラム

9:30～9:35	開会の辞	当番世話人：市川 尊文
9:35～10:35	萌芽的研究Ⅰ 萌芽1～5	座 長：三輪 洋人 杉本 光繁
10:35～11:35	萌芽的研究Ⅱ 萌芽6～10	座 長：鈴木 秀和 笠原 恵美子
11:35～12:00	休 憩	
12:00～13:00	ランチョンセミナー 内藤 裕二	座 長：樋口 和秀 共催：大塚製薬株式会社 武田薬品工業株式会社
13:00～13:15	総 会	代表世話人：樋口 和秀
13:15～14:15	特別講演 中山 淳	座 長：石原 和彦
14:15～14:51	一般演題 一般1～3	座 長：川上 文貴
14:51～15:00	休 憩	
15:00～15:36	エキスパートフォーラム E1～3	座 長：井上 正康
15:36～16:15	テクニカルセミナー 小寺 義男	座 長：市川 尊文
16:15～16:30	表彰式 閉会の辞	代表世話人：樋口 和秀 当番世話人：市川 尊文

第38回サイトプロテクション研究会 プログラム

2020年3月13日（金）9:30～16:30 メルパルク京都

開会の辞 9:30～9:35

当番世話人：市川 尊文

萌芽的研究Ⅰ 9:35～10:35

座長：三輪 洋人（兵庫医科大学内科学消化管科）
杉本 光繁（東京医科大学消化器内視鏡学講座）

萌芽1 腸炎に対するIBD疾患感受性遺伝子LRRK2の影響

○石川勇太、今井基貴、川上文貴、川島麗、前川達則、市川尊文
北里大学大学院医療系研究科生体制御生化学

萌芽2 胆汁酸は大腸上皮細胞に発現するTGR5を介して上皮の創傷治癒を遅延させる

○東祐圭、内山和彦、井上健、鎌田和浩、高木智久、内藤裕二
京都府立医科大学

萌芽3 ストレス負荷マウスに対する酸分泌阻害薬投与の影響と機序

○高嶋信吾、田中史生、藤原靖弘
大阪市立大学大学院医学研究科消化器内科学

萌芽4 Gut-Liver axisを標的としたNASH治療戦略

○中西啓祐、鍛冶孝祐、吉治仁志
奈良県立医科大学消化器・代謝内科

萌芽5 B細胞活性化因子の非アルコール性脂肪性肝疾患モデルマウスにおける肝脂肪化への影響

○中村由子、阿部雅則、三宅映己、渡辺崇夫、吉田理、小泉洋平、廣岡昌史、
徳本良雄、日浅陽一
愛媛大学大学院医学系研究科消化器・内分泌・代謝内科学

萌芽的研究Ⅱ 10:35～11:35

座長：鈴木 秀和（東海大学医学部医学科内科系消化器内科学）
笠原 恵美子（大阪大学大学院薬学研究科先制心身医薬学）

萌芽 6 膀胱伸展受容一次求心性神経活動測定を用いた、カラゲニン誘発慢性前立腺炎モデルラットの膀胱知覚評価

○相澤直樹、藤田朋恵
獨協医科大学医学部薬理学

萌芽 7 酸刺激によるラットの十二指腸の PGE₂濃度変化の検討

○藤村忠宏¹、近藤隆¹、段 韶琪²、戸澤勝之¹、富田寿彦¹、大島忠之¹、
福井広一¹、岡田啓希³、戴毅²、三輪洋人¹

¹兵庫医科大学病院内科学消化管科、²兵庫医療大学薬学部、³小野薬品工業株式会社水無瀬研究所

萌芽 8 O-GlcNAc 修飾は FOXM1 を安定化することで癌の進展に働く

○上田康裕 小嶋融一 竹内利寿 樋口和秀
大阪医科大学第二内科学教室

萌芽 9 社会的敗北ストレス後の社会的行動の決定因子に対する探索的検討

○伊藤史穂、笠原恵美子、森本建揮、羽根雅人、中村あゆみ、升谷美月
堀美香、野々村瑞雅、川口拓都、平泉香織、関山敦生
大阪大学大学院薬学研究科

萌芽 10 マクロファージのサイトカイン分泌におけるアドレナリンの役割の検討

○平泉香織、羽根雅人、笠原恵美子、堀美香、野々村瑞雅、竹中美月
川口拓都、関山敦生
大阪大学大学院薬学研究科先制心身医薬学寄附講座

休憩 11 : 35 ~ 12 : 00

ランチョンセミナー 12 : 00 ~ 13 : 00

座長：樋口 和秀
(大阪医科大学第二内科)

「消化管粘膜傷害の病態と治療の進歩」

内藤 裕二
(京都府立医科大学大学院医学研究科消化器内科学)

共催：大塚製薬株式会社
武田薬品工業株式会社

総会 13:00~13:15

特別講演 13:15~14:15

座長：石原 和彦
(北里大学名誉教授)

「腺粘液糖鎖による胃癌発生の制御」

中山 淳
(信州大学医学部分子病理学教室)

一般演題 14:15~14:51

座長：川上 文貴 (北里大学医療衛生学部病態生化学)

一般1 HFD マウスにおける ASBTi の NAFLD 改善効果について

○松井將大、朝井章、岡本紀夫、安岡秀高、横濱桂介、大濱日出子、土本雄亮、
福西新弥、樋口和秀
大阪医科大学第二内科

一般2 バレット食道のバレット腺癌リスクマーカーPDZK1の抗アポトーシス能増強作用

○半田修¹、半田有紀子¹、合田杏佑¹、福嶋真弥¹、平松和恵¹、萩原喜美子¹、村
尾高久¹、藤田至彦²、塩谷昭子¹
¹川崎医科大学消化管内科学、²近畿大学医学部ゲノム生物学教室

一般3 カルシウムイオン濃度は正常ヒト表皮におけるセマフォリン3A遺伝子の発現制御
に関与する

○鎌田弥生^{1,2}、富永光俊^{1,2}、本田耕太郎¹、Catharina Sagita Moniaga¹、古宮栄利子¹
外山扇雅¹、高森建二^{1,2,3}
¹順天堂大学大学院医学研究科環境医学研究所・順天堂かゆみ研究センター、²順天堂大
学大学院医学研究科抗加齢皮膚医学研究講座、³順天堂大学医学部附属浦安病院皮膚科

休憩 14:51~15:00

エキスパートフォーラム 15:00~15:36

座長： 井上 正康 (健康科学研究所)

E1 胃 NHPH 陽性症例胃粘膜における菌体分布—感染マウスとの比較—

○中村正彦¹、松井英則²、鈴木秀和³

¹北里大学薬学部微生物薬品製造学、²北里大学北里生命科学研究所、³東海大学医学部消化器内科

E2 アトロピンは胆汁の胃内逆流によりマウス NSAIDs 胃幽門前庭部潰瘍を増悪する—5-HT₃受容体の関与について

○佐藤宏、漆谷徹郎

同志社女子大学薬学部病態生理学研究室

E3 Pathological Examination of Hair Root from Mice Staying for Three Months in Internal Space Station and 60 times 100 mGy X-irradiation on the Ground

○Hideyuki J. Majima^{1,2}, Hiromu Ito^{1,2}, Tomoko Fukushige³, Hiroko P. Indo^{1,2}, Yoshihiro Kawabata¹, Ken-ichiro Matsumoto⁴, Ikuo Nakanishi⁴, Akihide Tanimoto⁵, Takuro Kanekura³, Clare L. Hawkins⁶, Michael J. Davies⁶, William St. Clair⁷ and Daret K St Clair⁸

¹Department of Oncology, Kagoshima University Graduate School of Medical and Dental Sciences, ²Amanogawa Galaxy Astronomy Research Center, Kagoshima University Graduate School of and Engineering,他

テクニカルセミナー 15:36~16:15

座長：市川 尊文

(北里大学医療衛生学部病態生化学)

「腸内環境マーカー探索を目指したペプチドミクスの試み」

小寺 義男

(北里大学理学部物理学科物性物理学研究室)

表彰式/閉会の辞 16:15~16:30

代表世話人：樋口 和秀

当番世話人：市川 尊文